



雪による被害防止について

■家の中で安全に過ごすために

- ・ 気象情報に注意して、暴風雪が予想されるときは、外出を避けましょう。
- ・ 日頃から停電に備え、懐中電灯・携帯ラジオ・防寒具・ポータブルストーブ・灯油・非常食・飲料水などを準備しておきましょう。
- ・ F F 式暖房機などを使用している場合は、一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。

■車で外出するときに気をつけること

- ・ 万一に備えて、携帯電話を忘れずに所持しましょう！
- ・ 車が立ち往生する可能性があるので、防寒着・長靴・手袋・スコップ・けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。また、万一に備えて飲料水や非常食も用意しておくで安心です。
- ・ 運転していて、地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。
- ・ 大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、J A F などのロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼しましょう。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。
- ・ 避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡して、車の中で救助に備えてください。
- ・ 車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは窓を開けて換気し、こまめにマフラーまわりを除雪してください。

■除雪を行うときに気をつけること

- ・ 屋根の雪下ろしをするときは
 - 複数で行う >> 梯子を支える。安全を確認する。万一の場合は、救助を求める！
やむ得ず一人で行う場合は、家族や近所の人に声をかける！
 - 滑り止め >> 靴や梯子に滑り止めをつける等の工夫をする！
 - 命綱をつけて >> 面倒でも、腰に命綱をつけて滑った場合や雪の急落に備える！
 - 周囲を確認 >> 屋根の下を通行する人や子どもに注意する！
- ・ 除雪機を使用するときは
 - 服装に注意 >> 機械に巻き込まれないような服装に着替える！
 - 雪が詰まった場合 >> 機械トラブルが発生したときは、必ずエンジンを停止する！
 - 周囲を確認 >> 通行人や子ども等に注意する！
- ・ その他の注意事項
 - 屋根の雪に注意 >> 屋根の下を通るときは、「雪」や「つらら」に注意する！
 - 除雪時の健康に注意 >> 無理に除雪作業は行わない。除雪作業で汗をかいたら着替えをする！
 - 気象情報に注意 >> 暴風雪警報や大雪警報が発表されたら、外出は控える！

問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142